



## 横浜地裁前 9月29日

午前8時30分、横浜日本大通り近くの「秘密アジト」で高山弁護士と落ち合ったインコは、横浜地裁前へ！

ここは、どっちが正面なんだか裏門なんだかよく分からない…どうやら南東方向が正面で、北西側が裏門らしい。

正面玄関前にはためく「いらない」の幟の他になぜか「国民救援会」とかという幟も見える。とまあ、インコは裏門へ。ここで最初の抗議行動を行った後、正面玄関前へ！マスコミのカメラにポーズをとる(けど、なかなか掲載してくれないのよね。やっぱりインコがかっこいすぎるからかな)

と！ここでいきなり頭に攻撃を受ける。なにさらすわん！小学生男子か(←天敵になるのが多い)！見ると妙齢の女性である。どうも構ってほしいようなので、少しじゃれ合う。

—高出頭率なんてとんでもないウソー

今回は最終的には45人を呼び出して40人が出頭したから89%の出頭率だという。

しかし！最初の呼び出しは90人、昨年11月末の候補者名簿登載通知時点で、70歳以上の人は「やらないよ」とか重篤な病気の人は「裁判員にならない」という返事を出したはず。

なのに、なんで22人も減るんだ？その後、人口の24%の人が重篤な病気になったということ？！もう絶滅するんじゃない日本人は？(>◇<;)

そこからさらに質問ではじめて45人。

この45人というのが、横浜地裁との間で「絶対に行く」と約束した人数というになる。

それでも5人が来なかった

そもそも68人から23人も減らされることは、裁判員法からいってありえない人数。だって、法律はこんなに幅広い辞退を認めていないもの

90人中40人…出席率44.4%

68人中40人…出席率58.8%

こんなインコの鳥頭でも計算できることを誤魔化そうなんぞ、ちょっと姑息すぎやしませんかね？

それをわかっていて恥ずかしくもなく高出頭率と書きたてるマスコミもどうなんでしょう？

この問題は次号でさらに詳しく！お楽しみに！！

「国民救援会」の人がハンドマイクで演説している。

「裁判員制度は問題だ」「3日で結論を出さな。こんなのは裁判ではない」

おお～！いいことを言うなあ～！！そうだ！そうだ！！やはり横浜の人って民度が高いのねえ～と甘心！けど、これがほんま甘かった！

よくよく聞いていたら「今の裁判員制度ではダメ」市民が参加するのを否定するものではないけど…だから、修正しろと言っている。

ここで高山弁護士がマイクを握る。

「私たちは、裁判員制度に絶対反対の立場を貫いている市民団体だ」

「問題があると言いつつ、なぜ、廃止を言わないのか」

「修正してよくなるのか。10万円の罰金が8万円になったから出頭しようとなるのか。根本から間違っているものを修正するというのはごまかしだ」

「修正論をいう人たちが、裁判員制度を支えているのだ」

「裁判員制度を推進しているのは、今の裁判には何の問題もないと言っている最高裁や法務省だ。弁護士の中にも同調して恥じない人たちがいる」…

迫力ある声で真正面から叩きのめす！ぶった切ってまさにこのこと…

インコ内心「ほんま面罵・罵倒ってこのことなんや。これから高山弁護士のことは馬頭観音(?)と崇めることにしよう」合掌p(^◇^)q

～ここまで正論で叩きのめされた彼らは寂として声なし～

さて、正門闘争が終わって、再度、裏門へ！ここはインコ通り抜けという訳にはいかない態勢がとられているようなので、仕方なく裁判所の周りをぐるぐる回る。

でも、おかげで車の中の人や道行く人たちに手を振ってアピールできる

検察庁の守衛さんにも手を振る。敬礼される(・◇・)ゞ

正面玄関では、武内弁護士がマイクを握る。高出頭率の欺瞞を切る！

「裁判所の職員もよくわかっているはずだ」「裁判官も内心ではやりたくない」

裁判官をはじめ職員も仕事に対する誇りを捨てて裁判ショーを演出するのだからつらいやろなあ～と心優しいインコは同情する(T◇T)

## 12時からデモ

インコは残念だが、昼からインコのお山で仕事があるので、デモはみなさんに任せて後ろ羽毛をひかれる思いで帰った。



インコ♪(〃◇〃)♪ 相模原の人たちが「裁判員制度いらない！」の幟のイラストを入れてくれました！

各地のみなさんもどうぞ！あっ！決して催促しているわけでは…そんな…誤解です…使ってくれたら嬉しいなってσ(^◇^;)…